

# ぎやらりーわ

NO.78

2017年4月号



●花の村内散歩  
サクラ (岡本紘一撮影)

編集・発行 NPO法人グループわ (小畑 浩昭) ホームページ <http://www.wa-net.jp>  
〒651-1102 神戸市北区しあわせの村シルバーカレッジ内 TEL.078-743-8101 FAX743-3830



生田文化会館で開かれた民謡クラブ発表会

## 民謡 切々 / 渋く / 朗々と唄う

### クラブ発表会

KSC民謡クラブ発表会が1月22日(日曜日)午前11時から県庁近くの生田文化会館大ホールで開かれました。同クラブ員と現役カレッジ学生の民謡同好会の約60人が日ごろ鍛えた喉を披露しました。聴衆は約200人。小野会長が「健康維持、ストレス発散のため、大きな声で歌ってまいりました。毎週1回、1年間の猛練習のおさらい会です。一生懸命やりますので、お楽しみください」と挨拶。オープニングは全員が舞台上立つ「秋田大黒舞」。民謡は日本人の心の故郷。誰もが知っているか、郷土が目につかぶ「江差馬子唄」「出雲木遣唄」「貝殻節」「黒田節」「よさこい節」など70曲を切々/渋く/朗々と唄い上げました。フィナーレは「九州炭坑節」。会場の聴衆も大きな輪になって踊りました。クラブ員の子供や孫、友達や近所の人で、フレンドリーな一日でした。(文・写真 広報 永野知己)



ボランティアの  
輪をひろげよう

## グループわ20周年記念事業の概要 2、3面

78  
号  
の  
内  
容

水の博物館リニューアルオープン	4面	部会・区会の活動レポート	8面
熊本サポート隊報告会開く	5面	カレッジだより 卒業式 入学式	9面
ボラ最前線 (エンジェル支援の会)	6面	イベント予定 4月～8月	10面
創エネ神戸がソーラー発電所設置	7面	WAからのお知らせ	11面

# グループわ 20周年記念行事の概要

## 記念式典

7月22日(10時-15時30分) カレッジホール

### ●第1部

和太鼓の前奏 20期音文メンバー  
 開会挨拶 小畑実行委員長  
 来賓紹介  
 来賓挨拶 神戸市長 久元喜造氏  
 シルバーカレッジ学長 服部祥子氏  
 表彰 グループわ 永年会員61人  
 DVD上映 〈グループわ 20年の歩み〉  
 記念講演 「神戸の今の街はどのように  
 してきたか?」  
 こうべ市民福祉振興協会長 矢田立郎氏

### ●第2部

みんなで歌おう会



アンケートによる思い出の歌20曲 / 校歌

展示…7月18-23日

・販売…7月23日

1Fふれあいほーる・教室

- 立体パネル写真 20年の歩み・本部と区会  
部会の活動展示
- 公募した写真・絵画・書道・川柳・俳句などを展示
- 販売 木工クラブ、ケナフの会、エンジェル支援の会、ミャンマー支援の会、チームたんの肥やし、さおり・たまも

## 記念DVD 20年の歩み

- ☆歴代理事/主な出来事
- ☆熊本サポート隊報告
- ☆区会活動について
- ☆20周年記念イベント
- ☆東北支援隊奮闘記
- ☆本部活動について
- ☆部会活動について



## いきいき文化祭

7月23日(10時-16時) カレッジホール・教室

【ステージ】一寸奉仕, チームダンスの肥やし, KSCマジッククラブ, うらしまたろう, わらい届け隊, 混声合唱団コーロKSC, KSC男声合唱団, 楽遊クラブ銀雅, KSCハワイアンフラ, 大正琴プリムラ, SCハワイアンズ, KSC民謡クラブ, SCクラブ大正琴, 詩吟同好会, KSC手話ソング, コーラスタルミ, 銭太鼓神戸輝星会, 須磨トレモロクラブ, フルトクラブ・ジークレフ

【教室】むかしあそび研究会, おはなし糸車, ケナフの会

## いきいきグラウンドゴルフ大会

5月10日 村の運動広場(雨天中止)

※参加申し込みは4月末まで:先着順

## いきいき健康麻雀大会…一ノ谷プラザ

6月17日(土) 10時~16時

- 募集人員:40名
- 参加費 1,000円:弁当代含む(弁当不要500円)
- 応募資格 KSC在校生・OB・職員・〈わ〉会員  
一ノ谷プラザ利用者様
- ◆応募締め切り 5月12日(金)

## いきいき囲碁・将棋大会…一ノ谷プラザ

6月24日(土) 10時~16時

- 募集人員:各40名(腕前の申請要)
- 参加費 1,000円:弁当代含む(弁当不要500円)
- 応募資格 KSC在校生・OB・職員・〈わ〉会員
- ◆応募締め切り 5月19日(金)

### ※応募方法

〒・住所・氏名・電話番号・コース:期・競技名を記入の上、下記までご連絡ください。

【ハガキ】〒651-1102

神戸市北区山田町下谷上

神戸市シルバーカレッジ内

NPO法人 グループわ 事業部宛

【メール】 wa\_suport@wa-net.jp

【FAX】 078-743-3830

# みんなで歌おう:曲目決まる!

歌いたい曲のアンケートにご協力頂きありがとうございました。ご回答頂いたアンケートは3月末時点で百数十通に達することができました。集計の結果、以下の曲が「ベスト20曲」に選ばれました。

「みんなで歌おう会！」ではこの20曲を中心に進めていきたいと思っております。幼き日々、懐かしき青春時代にタイムトリップして、楽しいひと時を過ごすことができたらと考えております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。 【あいうえお順】

青い山脈		いつでも夢を		上を向いて歩こう	
川の流れるように		学生時代		北国の春	
高校三年生		この広い野原いっぱい		四季の歌	
知床旅情		青春時代		世界に一つだけの花	
翼をください		遠くへ行きたい		琵琶湖周航の歌	
ふるさと		星影のワルツ		見上げてごらん夜の星を	
有楽町で逢いましょう		若者たち			

## 薬草プロジェクト事業に参加 手始めにキックオフシンポ

グループわは、兵庫医療大学が中心となって進める「兵庫の薬草を知ろう・広めよう・味わおう」プロジェクト事業に参加することになりました。山南町の薬草薬樹公園、ふるさと和田振興会、しあわせの村、あいな里山公園、ウエルネスサプライも加わり、平成32年3月まで取り組みます。同事業は兵庫県の補助金を受けます。

キックオフシンポは3月5日、丹波市山南町の市立薬草薬樹公園で開かれ、〈わ〉の小畑理事長、園芸20期、食文19、20、21期ら22人をはじめ、約100人が参加しました。



午後1時から兵庫医療大学薬学部の学生が考えた薬草料理(ミネストローネ、ぜんざい、お粥、クッキー)を試食、薬草で入浴剤を作り=写真、薬草クイズを楽しみました。薬草を目の前で見せ、その匂い、色、形、なめた味などで名前をあてるゲームです。午後3時から薬草研究者の山下幸治さん

が「山南町和田地区における薬草の歴史」と題して講演。山下さんは95歳で昭和22年から薬草を栽培している大ベテラン。続いて神戸ハーブ園元園長であるあいな里山公園園長の高畑正さんが「神戸ハーブ物語」と題して話しました。和田地区は江戸時代から300年続く有数の薬草生産地。トウキ、セネガなど有名です。兵庫医療大学は生薬研究で和田地区との交流が生まれました。〈わ〉は今後、しあわせの村内の薬草園の整備、薬草紹介マップの作製、植樹イベントの開催などに参加することになります。

(文 広報 永野知己 写真 藤田健一)

## 2人に功労賞決まる

グループわの29年度の功労賞は4月7日の理事会で、下記の2人に決まりました。

### 【功労会員】

◆淡路 忠義(福5) =朗読あかりの会 19年目 北区会長5年間(13-18)など、むかしあそび研究会・特養神港園での支援活動を継続中。

◆北山 秀俊(国9) =ミヤンマー支援グループの代表として10年間に亘って活動を続けています。

(広報 藤田 健一)

# リニューアル完成 オープン

があります。「地球と水」「水を使う」「神戸市水道」「震災の記憶と記録」などの

水の科学博物館のリニューアル工事が完成し、3月9日オープンしました。午前10時からの式典で水口和彦水道事業管理者は「設備が古くなったため、11月から休館し工事を始めた。水博は国の登録有形文化財に指定されるほど貴重な建物。子々孫々に伝え、水の大切さや市の水道事業を理解していただくよう努めます」と挨拶。前もって、神戸市の小学校163校を通じ、チラシ約9万枚を配って周知したため、出足は好調。お天気が良かったこともあり、228人が来館しました。



リニューアルは1階テーマシアターの前面にあった噴水を取り払い、ステージを作り替えました。講演会や地域の人々から市民の発表の場として活用します。ステージでパフォーマンスを演じる人は演技しやすく、見る人も良く見えるようになりました。プロジェクターも設置、パワーポイントで作成した誌面を大画面で映し出せます。

1階フロアの奥にあったジャングルジム、水のサーカスを取り払い、「水の実験室」のスペースを拡大、設備も充実。実験を間近で見て水の大切さや不思議さを体験できます。

2階にはレタスなどの水耕栽培セットと希少種のカワバタモロコと熱帯魚の水槽を新しく設置。ビデオを見ることができるモニター4台で「スペースシャトルの水」「アメリカの大規模灌漑」「砂漠の井戸」「サウジアラビアの海水淡水化」などを上映。「汚れを取って水をきれいにしよう」というバーチャルゲームもあります。モニターに善玉菌、悪玉菌が流れ、手を動かして悪玉菌をたくさん取れば取るほど点数が高くなり、子どもも大人も「ワイワイ」歓声をあげて大はしゃぎ。

2階にはテーマごとに縦横数メートルの大パネル

テーマで分かりやすく説明します。若いお母さんの強い要望があって2組が利用できる授乳室を設けました。水博を訪れた近所の家族連れは「設備が一新され、きれいになりました。面白いものが増えたので、これまでよりも来る機会が増えそうです」と話していました。(文・写真 広報 永野 知己)

## リニューアル記念イベントを開催

3月25日(土)と26日(日)の2日間、水の科学博物館のグラウンドで、【むかし遊びを体験しよう!】をテーマにリニューアル記念イベントを開催し、約833名の来場者がありました。



グループわ から『むかしあそび研究会』『うらしまたろう』『わらい届け隊』そして本部数名がイベントを盛り上げるために奮闘しました。来場者の中にはスエーデン人の男女3人組がおられ、皿回しなどに果敢に挑戦されました。

(文・写真 広報 藤田 健一)

## こんにやく作り教室を開く

水の科学博物館のイベント、こんにやく作り教室が1月29日午前10時から同館で開かれ、親子連れ10組、23人が参加。講師はグループわ のKSCマジッククラブの南形公子さん(福13)=写真下左端。サポート役に〈わ〉の5人。

こんにやくイモ1kgをたわしでよく洗い、皮をむき、4つ切りにし厚さ0.7センチに切ります。鍋に入



れ、20分から30分茹で、これをミキサーにかけてつぶし、タライに入れて1時間放置。お湯で溶いた炭酸ナ

トリウムを加え、粘りが出るまで練るとこんにやくの完成。1個150g位を手につけながら丸め、お湯に入れて30分茹で、冷水につけてアクを抜くと食べられます。途中空いた時間にマジックショーも開きました。

(文・写真 広報 永野 知己)

## 認知症 サポーター養成講座開く グループわが主催

ジョイラックデイの1月18日、グループわ 主催の「認知症について学ぶ」講座がカレッジ学習室で開かれ、61人が受講しました。この講座を受講した人は認知症サポーターと認められ、オレンジリングがもらえます。厚生労働省が主導の事業。サポーターは全国に約750万人(2016年6月現在)おり、地域で認知症の方が穏やかに生活するための見守りや環境整備に尽力しています。

講師はカレッジ職員で北区キャラバン・メイトの窪田和人さん=写真。パワーポイントで作成した資料をプロジェクターで大きなスクリーンに映しわかりやすく話しました。

### ◆講義の概要 認知症にはアルツハイマー型、脳



血管型などがある。脳の細胞が死に、その働きが悪くなって、生活する上で支障が出る。中核症状は記憶障害。直前に起きたことも思い出せなくなる。筋道を立てた思考ができなくなり、時間や場所など自分が置かれている状況を認識できなくなる見当識障害もある。妄想を抱く、幻覚を見る、暴力をふるう、徘徊するなどの症状も出る。うつ、無気力などの感情障害を起こすこともある。

自分がどこにいるのか分からなくなった様子の人を見かけたら、相手の顔をしっかりと見て「一緒に帰りましょうか」などとゆっくり、はっきり、落ち着いて話しかけるのが望ましい。発症者は「自分はようになってしまうのだろう」と大変不安で、馬鹿にされているとも感じていて不満、不信がある。具体的には①赤ちゃん言葉を使わず、子ども扱いしない②認知症は自分もいつかかかるかもしれない③徘徊にも意味があり、ちょっと寄り道しているだけ④人生はいくつになっても悩む、迷うもの一と考えると、ゆったりと発症者に接することが大切だ。

講座を聞いた参加者は「ほのぼのとした中身だった。自分もサポーターとして動きたい」、「1回だけで終わらず、続編もやって欲しい」などと感想を述べていました。

(文・写真 広報 永野 知己)

## 弱い人を思いやる心が大切 熊本サポート隊報告会も開く

熊本サポート隊の報告会がジョイラックデイの1月18日午前10時からカレッジ学習室で開かれ、61人が参加しました。サポート隊の隊長である小畑理事長の挨拶の後、活動時のビデオをスクリーンに映して報告しました。2016年11月11日～13日に熊本県益城町の赤井、小池島田、安永、飯野小の仮設団地4箇所を訪問。住民と一緒に明石風たこ焼きを作り、一緒に食べながら和やかに歓談する様子がよくわかります。演芸が始まる前には派手な衣装をまとった三味線の波多野武郎さん、腹話術の田山映二さん、マジックの古後健一さんが仮設住宅を回り、懸命に呼び込みをしました。

住民は「たこ焼きをだし汁で食べるのは初めて。美味しか」とびっくりした様子。古後さんのマジックではネタを見破ろうと子ども達は身を乗り出して見つめますが、結局はわからず、「ウーン」と感心しきり。田山さんの腹話術の芸にも笑い転がっていました。民謡・三味線の波多野さん、蔵本公子さんが「おてもやん」「九州炭坑節」を唄い、住民も手拍子を打ち、踊りの輪を作りました。手話ソング・体操の橋本敏代さん、井上久美子さんが先生役でお手本を示し、住民もこれにあわせて体を動かし「気分



仮設住宅で熱心な呼び込み

が晴れ晴れした」と感謝していました。

ビデオ上映後、サポート隊員が感想を報告。①波多野さんは「ビデオは初めて撮った。下手くそですみません。130年住み続けた家が全壊した。ご先祖様に申し訳ないとの住民の話に胸が痛んだ」②井上さん「出発前に猛特訓した。材料のタコが無くなったら、住民が機転を利かしてチクワを持ってきてくれた。ありがたかった」③古後さん「神戸に帰って児童館でビデオを見せた。子どもらは真剣に見てくれた。困った人、弱い人を思いやる心が大切と改めて思った」。

(文・写真 広報 永野 知己)

# 布草履注文 2ヶ月待ち



エンジェル支援の会

ボランティア  
最前線

エンジェル支援の会(辰巳陽子代表)が作る布草履は、注文して手元に届くのに2か月待ち。「履きやすく、丈夫で長持ち」「デザインが素敵で可愛い」と口コミで評判が広がり、作るのが追

い付かない状態。

年間300足を販売し収益の一部をチベット、ネパールなどの恵まれない子ども達に寄付しました。

会は、辰巳さんがカレッジ生活環境コースを卒業した折、17期生を中心に呼びかけ、平成25年に発足。生環コースでは2年生

有志を中心に夏休みなどにカレッジの教室を借りて布草履を制作、学園祭で販売し、売り上げはグループ学習のレポート誌の印刷代に充てるのが伝統。会はエンジェル(子ども)の支援が目的ですが、生環卒業生の交流の場でもあります。

会員は34人。毎月第2、第4月曜日が活動日。ひよどり台プラザで午前10時から午後4時まで。毎回10数人が参加します。「できる人が、できる時に、できる事をやる」のが基本スタンス。3月13日に取材に行った日は13人が参加。カレッジ卒業生だけでなく会員の近所の人や友達にも門戸を開いています。

プラザでは長さ13メートルの布を幅5.5センチに裁断、この布を半分に折り、ミシンで縫い合わせます。布を表に返してアイロンをあててきれいに伸ば

します。この布が布草履の土台の材料です。鼻緒は、長さ82センチ幅7センチの布を半分に折って縫い合わせ、その中に芯を通します。土台は、辰巳さんと山本都子さん(生17)らが家で作ります。布草履の土台に鼻緒を付けると出来上がりです。



チベット出身の歌手、バイマーヤンジンさんが進めているチベット学校建設に寄付。ネパール出身の山岳ガイドのインドラ・ジット・ラマさんを中心とした支援グループ「愛のかけはし」を通じネパール地震で被害を受けた学校再建の費用に寄付しました。

会結成以来、1000足の布草履を制作・販売し、昨年8月8日に記念パーティーを開催。ラマさんも参加し、子どもたちが楽しく学んでいる様子を報告していただきました。

手芸が好きな人が多く、弁当袋、ペットボトル入れ、ミニぞぶとんなども作っています。手を動かしながら、世間話が飛び交い、和やかな笑いが広がります。「今晚のおかず何にする」、「春になった、暖く助かる」、「〇〇レストランはおいしい」などが話題。みなさん「子どもたちの役に立っていると思うと張り合いが出ます」と口をそろえていました。

〈他の参加者〉池田八郎 田路義弘 太田治彦 吉村秀子 春日雅夫 斎藤登美子(以上生17)若林カズ 西尾律子(以上生18)中西孝子(国17)田淵千尋 岩崎節子(以上一般)の各氏 (文・写真 広報 永野知己、藤田健一)

# ボランティアの心

## わが街のニーズに寄り添う

あの震災に、もし遭っていなかったら、そしてカレッジに在学していなかったら、今までボランティアとは無縁で過ごしていたかもしれない。

2期生で入学して3か月、震災直後から続いた休校の間、東須磨小学校の避難所へ手伝いに通ったのが初めての体験だった。その縁で7月の「この指とまれDAY」で「子どもと遊ぼう」グループを立上げて小学校や保育園を訪問した。のちにグループは「こども文化」と名を替え今日まで引き継がれている。

再開後のカレッジではボランティアセンターの運営に参加した。授業にもボランティア講座が加わり、実践と理論の両面からボランティアを学んだ。まさに「ボランティア元年」だった。

1年を経て、事情で休学、翌年3期生として復帰



青陽須磨支援学校トライやるウィークのサポート（北須磨文化センターで）

すると、再びボランティアセンターに入った。この年の7月、1期生によって〈わ〉が生まれた。

卒業後、近くのカレッジ同窓生で「ぐるーぷ峠」を作り高齢者施設で入浴後の整髪など奉仕活動を始めた。この活動は今も続けておりもう18年目になる。細々でも地域に「ニーズ」がある限りは続けることが大事と信じている。

〈わ〉は年を追って活動分野を広げ、それに伴い会員も増加した。いろいろなボランティア活動があることはいい。ただ、見るところ「ニーズ」先行、つまり相手はともかく自分がやりたいことをやるという傾向があるように思う。その反面「ニーズ」に根ざした地道な地域貢献活動への関心が薄れているのではないかと感じている。私は、

いま須磨区会長の立場にある。わが区会のメンバーが分野を問わず活躍することはもちろん喜ばしく応援もしている。ただしメンバーの皆さんには、片足はいつも地域に着けていてもらいたいと願っている。

（細野恵久 福3 須磨区会長）

## 創エネ神戸がソーラー発電所の点灯式

### 西区のあさひ保育園に設置

グループわの創エネ神戸がコーディネートしたソーラー発電所の点灯式が2月14日午前10時から西区のあさひ保育園で開かれま

した。神戸市初の市民共同発電に約550万円を無利子融資した兵庫県農



政環境部の代表、保育園保護者会会長、〈わ〉の小畑理事長ら来賓9人、子どもの保護者、出資した〈わ〉の会員やカレッジの学生、園児150人を含む約200人が出席しました。

舟橋博園長は「おひさまのちからで発電が始まります。皆様のご協力に感謝で一杯です」と挨拶。続いて舟橋園長、県代表、園児代表2人、創エネ神戸代表の山田通裕さんが発電のスイッチを押しました。

この「あさひ・カレッジ発電所」はあさひ保育園が事業者となり創エネ神戸が共同運営者となりました。

昨年5月、設置の検討を開始。7月には施工業者にワット神戸を選定、兵庫県の地球温暖化を防ぐ再生可能エネルギー事業の貸付に応募。7月から9月にかけて、〈わ〉会員やカレッジの学生に建設協力を呼びかけ、1口1万円の建設協力金に49人が応募。県の貸付は10月に認められました。

発電出力は26kW、ソーラーパネルは260Wが100枚で、保育園の普段使う電力を十分に賄うことができ、少し余る電力は関電に売却します。建設費用は約700万円で、県の貸付550万円のほか保育園が100万円拠出、建設協力金49万円などを活用しました。

創エネ神戸は平成26年に設立。会員は9人。再生可能エネルギーの普及、啓発活動を行っています。月に3回程度活動し、市民共同発電所の建設のほか、研究会や見学会に参加、環境学習として児童館や幼稚園等でソーラーカーを走らせたり、風車を回して子どもらに太陽の力を実感してもらっています。

（文・写真 広報 永野知己）

## 活動 レポート

### 【環境部会】神戸ぴかぴか隊

#### 神戸マラソン・北区ロードレースに出動

11月20日(日)に行われた神戸マラソンに「神戸ぴかぴか隊」から沿道警備等のボランティア活動に会員120人がスタート地点・長田・須磨地区の担当場所でそれぞれ活動をしました。須磨17区は19期の26人が一



般の手話・語学担当者と共に須磨浦公園駅から東約200m間を担当しました。北区ロードレースにも7名参加。

### 【文化部会】書道部

#### こども卓球大会 表彰状名前書きボランティア

2月18日(土)に、こべっこランドこども卓球大会が神戸市立中央体育館で盛大に開催され、書道部より入賞者へ贈呈する表彰状の名前書きボランティアに7名が参加しました。

活動内容は入賞者の表彰状に、選手名と順位を日本古来の墨液を使って毛筆で書いてあげることでしたが、受賞者本人を目の前にし、且つ受賞者の名誉を傷つけない字体で書くような体験は初めてのことでした。また失敗も許されないこともあり、初めのうちは手が震えるぐらい緊張した状況でしたが、次第に選手の喜びの気持ちが握る筆に伝わった来る余裕も生まれて来て、終わってしまえばたいへん名誉ある活動だったと思えたボランティアでした。



最後に、毛筆で書かれた表彰状を大事そうに持っている子どもたちや保護者が印象的でしたとの主催者側の感謝の言葉も頂き、充実と感激の一日でした。

### 【いきがい部会】東灘ボランティアガイドの会

#### 岡本梅林公園を案内

3月4日梅一つ火会主催の講演会&甲南大主催〜梅と文化花結日〜の参加者の梅公園見学希望者100名に対し会員10名でガイド。甲南大から岡本公園までの僅かな距離のご案内でした。会員の感想は、道案内の道中、参加者の方と色々楽しいお話をさせていただきました。天気も良く暖かい日和

で皆さん一日中梅をいろんな形で満喫されていました。私のグループの方は奈良県から来られたお客様でした。

【東灘区会】梅剪定講習会を開催 3月4日梅一つ火会が甲南大学キャンパスで8回目の「梅剪定講習会」を開催しました。梅や庭木の剪定などに興味がある方々が68名参加しました。

NPO法人樹木研究会こうべの樹木医長谷川誠先生の丁寧な講演があり、先生への質問も活発で日頃の疑問点解消に役立ったと思います。当日は地域のインターネットテレビから取材を受け私達の思いなど経過を含め説明しました。



### 【北区会】北区ロードレースを支援

12月18日(日)快晴の空の下、しあわせの村運動広場で開催された北区ロードレースに、わ本部1名、北区会8名、神戸ぴかぴか隊7名の16名が参加しました。

私たちの仕事は、7:30に集合し8:00~8:45の間、本部受付、エントリーされた小学生の受付、それが終わると、コース周辺の清掃活動をしました。



コースとなった運動広場、中央緑道周辺は、家族、友人たちの「ファイト・ファイト」「ガンバレ・がんばれ」の黄色い声援が飛び交い、熱気に包まれていました。一生懸命走っている子どもたちの姿を見て、私たちも若さと元気を貰った一日でした。

### 【垂水区会】多聞ひまわり幼稚園支援

「1・17のつどい」の日に5人で支援をしました。9:30に集合し、昨秋植えつけた大根の収穫作業です。園児達35人(4~5歳)が次々と大根を引き抜き冷たい水洗いをして泥を落しました。これ等を分け合ってお土産に持ち帰るそうです。いい体験になったことでしょう。



### 【西区会】地域交流委員との懇談会開催

12月22日地域交流委員には、カレッジ在校生に区会活動を知ってもらうため「区会だより」や「区会行事案内」を配信して頂いていますが、より一層区会活動を理解いただくために、地域交流委員と区会役員との懇談会を開催し、和やかなひと時を過ごしました。

(編集 広報 岡本純一)



# カレッジだより



## 21期生323人が晴れて卒業

第21期生の卒業式が3月22日、カレッジホールで行われ323人が卒業されました。服部祥子学長から各コース・専攻の代表者に卒業証書が授与されたあ



と、服部学長の式辞に続き、来賓の福本富夫・神戸市保健福祉局高齢福祉部部長の

祝辞と祝電披露があり、在校生代表・藤原利幸（食文22）さんの送辞があり、卒業生代表・石橋正好（食文）さんが答辞を述べました。グループからは小畑理事長が出席しました。このあと、参加者全員で校歌を歌って終了。卒業証書は、各教室で講師から手渡されました。コース別の卒業生は健福62人、国際78人、生環60人、美工28人、音文33人、園芸28人、食文34人でした。卒業生からは、ジェットタオル2台とプロジェクター1台が贈呈されました。

## 24期生の入学式

桜満開の4月10日、K S C第24期生323名の入学式が、カレッジホールでおこなわれました。服部学長



は、式辞の中で、人生80年の長寿社会を迎えシルバー世代がいかに人生を豊かに生きるかについて学び、考え、実践する場としてシルバーカレッジは非常に優れた場であり、この場を選ばれた新入生の皆さんを大いに歓迎すること、また建学の精神である「再び学んで他のために」について、他のためには同時に自らのためであり、共に生きる「共生」の考え方が重要であることを話されました。24期生の期待と緊張が感じられる入学式でしたが、終了後のふれ

あいホールや中庭では各クラブの説明に積極的に質問する姿が目立ちました。なお、学長式辞と来賓祝辞の両方でグループに触れていただき、ボランティア活動を実践する各グループへの高い評価をいただきました。また、入学式運営において、グループは、従来通り駐車場整理や記念写真撮影でも協力しました。

## 東六郷小を招いて交流会

ようこそ東六郷小のみなさん—2月18日夕、しあわせの村で仙台・東六郷小の児童8人と付き添いの父母・先生ら一行20人を迎え、交流会が開かれました。東北支援を続けている村の「笑顔とどけ隊」が招いたもので、メンバーの団体やグループが参加しました。東六郷小は東日本大震災で甚大な被害を受

けて児童数も年々激減。全校でわずか8人となってしまい、3月で廃校になります。毎年、神戸市教委と福祉振興協会（村）が6年生を招待していましたが、今年



は”最後の年”となるので、全員を招いたものです。この日、一行は海洋博物館と防災未来センターを見学して夕方村に到着。児童代表、校長、PTA会長から「しあわせの村の皆さんにはこの5年間毎年、仙台まで来ていただき、プレゼントとパワーを届けてくださいました」と感謝の言葉があり、「笑顔とどけ隊」とグループからは、子どもたちへそれぞれお土産が贈られました。〈わ〉からは、小畑理事長と堺監事、南形徹が出席しました。一行は、この夜村のホテルで1泊。19日は鉄人28号を見て大阪へ。USJで遊んだあと、村へ戻り宿泊。20日は市教委を訪問。北野異人館を巡って夕方の便で伊丹空港から帰途につきました。

（文・写真 生14 南形 徹）

## ●カレッジ事務局人事

3月31日付【退任】 藤本義兼（事務局長）・田阪義英（学生支援リーダー）・葛尾健司（総務係）・北尾進（生環コーディネーター） 4月1日付【新任】 丸一功光（事務局長）・藤原三喜男（学生支援リーダー）・木村裕幸（事務局）・大橋一郎（生環コーディネーター）

（広報・藤田健一）

## グループわ 4月～8月のイベント

開催日時・場所	テーマ・内容と協力グループ	連絡先
5月1日(月)～7日(日) 10時～15時 水の科学博物館	春のイベント「和(わ)で遊ぼう」 協力;おはなし糸車、わらい届け隊 むかしあそび研究会、SCマジッククラブ、うらしまたろう	神戸市水の科学博物館 078-351-4488
5月5日(火) 10時30分～16時 しあわせの村 芝生広場	わいわいストリート 協力;むかしあそび研究会、木工グループ うらしまたろう、ケナフの会、<わ>本部	こうべ市民福祉振興協会 078-743-8092
5月13日(土) 神戸芸術センター	日本伝統文化の紹介 協力;国際部会、書道部	グループわ 078-743-8101
6月3日(土) 神戸芸術センター	日本伝統文化の紹介 協力;国際部会、茶道有志	グループわ 078-743-8101
6月10日(土) 神戸芸術センター	日本伝統文化の紹介 協力;国際部会、書道部	グループわ 078-743-8101
7月29日(土) 15時30分～18時30分 しあわせの村 芝生広場	しあわせの村まつり	こうべ市民福祉振興協会 078-743-8092
8月6日(日) 10時～12時 13時～15時 KSCカレッジホール&教室	夏休み工作塾	こうべ市民福祉振興協会 078-743-8092
8月1日(火)～6日(日) 10時～15時 水の科学博物館	夏のイベント「和(わ)で遊ぼう」	神戸市水の科学博物館 078-351-4488

### 28年度グループわの活動

【4月】水の科学博物館 業務スタート(1日)  
日本伝統文化の紹介(2,5,9,30日芸術センター)  
カレッジ入学式関係業務(7日)  
野鳥観察会(29日)  
パソコン講座スタート(人材支援センター)通年  
ぎゅらりーわ74号発行

【5月】わいわいストリート(3日芝生広場)  
和で遊ぼう(3～8日水の科学博物館)  
第13回定期総会(21日) 交歓会  
功労者表彰(個人1、団体3)  
夢基金PJ花実の森カブトムシ生育観察(22日)

【6月】日本伝統文化の紹介(4日芸術センター)  
親睦初夏の森林浴ウォーキング(8日摩耶山)

【7月】しあわせの村なつまつり(30日)  
夢基金PJ花実の森カブトムシの生育観察(17日)  
ぎゅらりーわ75号発行

【8月】夏休み昆虫採集と標本づくり教室(7日)  
学習支援 戦争体験者のお話を聞く会(6-7日)  
学習支援 神戸空襲写真展(3-9日)  
和で遊ぼう(2-14日)水の科学博物館  
しあわせの村夏休み工作塾(21日)

【9月】たのしい秋祭り(19日こべっこランド)  
神戸市社会福祉協議会より理事長感謝状を  
うらしまたろうが受賞

【10月】親睦グラウンドゴルフ大会(15日)  
日本伝統文化の紹介(22日芸術センター)  
バードウォッチング冬鳥を観察しよう(29日)  
ぎゅらりーわ76号発行

【11月】熊本地震サポート隊派遣(11-13日)  
親睦秋の森林浴ウォーキング(21日甲山)  
学習支援者の集い 講演会(9日)

【12月】KSCオープンキャンパス学内案内協力  
北区ロードレース支援(18日)

【1月】ジョイラック - 認知症サポーター養成講座  
熊本地震サポート隊報告会(18日)  
ぎゅらりーわ77号発行

【2月】29年度KSC入学願書受付

【3月】こうべユニバーサルデザインフェア(19日)  
水の科学博物館リニューアルイベント(25,26日)

(広報 岡本統一)

## WAからのお知らせ



### 〈わ〉の会員総数 1374人に

3月31日現在、新しい仲間を迎え、会員登録者は計1374人になりました。

21期の新入会員は、140人です。コース別では、健福33人、国際21人、生環35人、美工7人、音文19人、園芸10人、食文15人です。

年会費は1人1,500円です。今年度は〈わ〉設立20周年に当たり20周年記念事業支援金500円を合わせて納入いただいています。

### 総会は5月20日 午後は落語会

グループわは、29年度総会を5月20日（土）午前10時からカレッジホールで開催します。

その後功労会員の表彰式があり、昼食をはさんで、12時50分からパワーポイントによる各区会・部会の活動紹介を、13時30分から落語会（出演は桂文枝一門の桂三ノ助、桂小留）を予定しています。総会資料は、「ぎゅらりーわ」4月号（78号）に同封します。出欠のご返事は、昼食の弁当注文の関係で5



### 環境部会新サークル誕生

#### フードドライブ（上利哲裕代表・会員7人）

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、福祉団体や施設に寄付する活動のことです。私たち“フードドライバー7”は、毎月1日から10日までを「フードドライブ旬間」と位置づけ、シルバーカレッジの学生とグループわの会員に呼びかけています。集まった食品はフードバンク関西を通じて子ども食堂などに届けられています。昨年6月のジョイラックデーを皮切りに、シルバーカレッジ内に芽生えつつあり、私たちの活動が根付き、食品を必要とする人達に元気と笑顔をお届けできることを願っています。



### グループわ 本部 のメールアドレス

代表・総務：group\_wa@wa-net.jp 事業・パソコン教室：wa\_support@wa-net.jp  
学習支援：wa\_info@wa-net.jp 広報・ホームページ wa\_gallery@wa-net.jp

### 川づくり研究会（野崎庸夫代表・会員9人）

生活環境コース21期のグループ学習の延長の活動で「川づくり研究会」と銘打って主に伊川をフィールドとして神戸市環境局が展開する外来種アカミミガメの防除活動に引き続いて取り組みます。

また、伊川を少しでもきれいにして子供たちが喜んで川の中に入って遊ぶ、そのような川にするために単調な流れの川を川原の石を使って「小さな自然再生」で水制工を作って淵や瀬を作って川に緩急をつけて、より多くの種の生物が棲める川にすべく努力する次第です。

### いきがい部会新サークル誕生

#### 太極拳ゆったり体操（岸野清美代表・会員12人）

健康福祉コース21期のグループ学習で取り上げた健康体操です。転ばぬ身体つくりのために太極拳のもつ筋力UP、免疫力UPを高齢者の介護予防にとりいれたものです。自分自身の為にも、介護を必要とする高齢者の為にも一緒にやってみませんか？ボランティア活動として、高齢者施設を訪問し、広めていきたいと思えます。



●廃部 新舞踊クラブが廃部となりました。

●79号（7月号）の発行 2017年7月下旬です。

### 編集後記



★ぎゅらりーわを担当して丸3年、今年で卒業です。企画、原稿取材、写真撮影、誌面編集、印刷、発送とフル回転。ボランティアの最前線を訪ね、自分の目で見て、耳で聞いて、ナマの様子を書け、確かな手応えを感じました。人さまの喜び即自分の幸せというみなさまには頭が下がります。ありがとうございました。（永野知己）

★3年前からホームページを担当し、最新化と掲載情報の充実を目標に進めてきました。皆様のご協力により、新情報掲載405件/年を達成することが出来、ホームページのご訪問回数が600件/月を超えるようになり、感謝で一杯です。（岡本紘一）

★20周年記念DVDの校正と内容充実のために区会長の皆様及び各グループ代表の皆様にご説明の校正と写真の提供をお願いしています。3月末時点で約70%の方より回答がありました。未回答の方は再度連絡しますので、ご協力の程宜しく願います。（藤田健一）

# ケナフの会 2016年の活動

「KSCケナフの会」  
との協働報告

**紙すき出前教室**：5月3日しあわせの村で開催された「わいわいストリート」から16回の出前教室を開催。  
会員（延200人）が、各地域の児童館等で活動し 児童・父兄の参加者は約830人でした。



**炭焼き**：栽培したケナフ、1月17日震災慰霊竹灯籠で炭をつくります。  
炭焼きを3回行い、炭は「学園祭」等で展示販売しました。



ケナフ染め



## トピックス



**ケナフ栽培**：5月種蒔き、6月農場へ定植、7月末開花  
8月中旬には樹高 3.3mまで成長しました。



いかり共同作業所支援活動  
軽作業の支援をしています。



**待望の耕うん機を購入しました！**  
園芸クラブの耕うん機を借用していました。有難うございました。

(写真・編集 ケナフの会代表：山口昭則・生18)